

## デジタル技術を活用した審美歯科治療



久津輪 正志

---

デジタル技術の発展により歯科治療や補綴物の設計,製造,評価などを従来の手作業に比べてより正確で効率的な方法が確立されつつある。

審美歯科技工には,歯科医師との綿密なコミュニケーションと正確な色調の確認が必要と考える。

デジタルデータは保存や共有も容易であり,歯科医師や患者とのコミュニケーションもスムーズに行うことができる。

また,デジタルデータの使用により,審美的な補綴装置のデザインや色調を詳細に調整することが可能である。

今回は,私が審美補綴についてどのようなやり方を利用してアプローチしているかを症例を通して発表していく。

---

### 【略歴】

2009年 歯科医師会立鹿児島歯科学院専門学校 卒業

2010年 大阪セラミックトレーニングセンター 卒業

2011年 自費専門ラボ 就職

2013年 SJCD テクニシャンコース 卒業

2014年 心齋橋デンタルクリニック 就職